

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	2	事業所と地域とのつきあいで散歩、買い物また、自治会に加入し行事になるべく参加し地域との接触を図ろうとしているが、未だホームの認識が薄いと思われる。	多くの近隣住民にグループホームを認識して頂き交流を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ・地域行事になるべく多く参加する。 ・ホーム行事に多くの地域住民に参加して頂く。 ・散歩・買い物等多く外に出、住民と接触を図る機会を作る。 	12ヶ月
2	18	本人と共に過ごし支えあう関係職員と利用者が共に生活することを基本にしているが、介護側の立場で接してしまう場合がある。	利用者の立場になって介護を行う。	<ul style="list-style-type: none"> ・各利用者のアセスメントをしっかり行う。 ・出来る事出来ない事の見極め。 ・各利用者が何をしてもらいたいのかの把握。 ・職員が基本に戻り利用者と共に生活をする場としての認識を見直す。 	6ヶ月
3	56	利用者と相対で話す機会が少なく、悩み、希望等ゆっくり聞き今後のケアに生かしたい。	利用者の悩みの解消、希望ある生活の支援、生活の向上を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ・担当者と1対1の外出、買い物、お茶、公園など本人の望む所へ出掛ける。 ・居室、入浴時の聞き出し。 ・自分からの乏しい利用者への配慮、推察。 	6ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。